

売目標は月2500台で、2200ccのDE車は8月から販売する。

マツダの国内販売は、独自の低燃費技術を採用した新型車の効果が一巡し、8カ月連続で前年割れとなっている。5月も1万3429台と前年同月より33・0%減った。今年、国内では新型車の発売はないとみられ、主力車種のアクセラの大幅改良で販売を強化する構えだ。海外にも順次投入する予定でいる。

韓国の大卒者ら採用企業を募る

駐広島総領事館

駐広島韓国総領事館は、韓国の大卒者や大学生の採用に意欲がある企業を募っている。インターネットを利用した広島市内での面接会と、ソウルである求人フ

エアへの参加を受け付けている。

面接会は、総領事館が9月か10月に広島市内で開く。韓国にいる20〜30代の大卒者で、仕事に支障がない水準の日本語を話せる人を、ネット経由で面接できる。企業の参加状況に応じて日程や会場を決める。初めて開いた昨年は、広島市内のホテルや食品メーカーなど7社が計10人を採用した。

ソウルの求人フェアは10月28日、韓日産業技術協力財団が主催し、韓国の大学生や大卒者が集まる。日本の20社の参加を想定し、企業の担当者1人分の往復の渡航費とホテル代を、財団が負担する。

いずれの催しも企業の参加は無料で、申し込みは31日まで。総領事館☎082(568)0503。

阪急阪神グループ加盟

ホテル一畑、10月に

ホテル一畑(松江市)は14日、阪急阪神ホテルズ(大

ひとネット



「見て食べて驚きのある豆菓子をお届けする」と話すのは、豆菓子製造の徳永製菓(福山市)の徳永ひろみ副社長。独自の

商品作りに力を入れている。

自社の商品は3月に「新! 広島みやげグランプリ2016」で一般投票賞の大賞、5月に福山ブランドの認定品に選ばれた。食用バラやレモンなど地元産の食材で味付けした。「福山発の土産として広めたい」

1869(明治2)年の創業。「豆は多彩な味が表現できる食材。アイデア次第で可能性は広がる」(榎本直樹)

福山

豆菓子の可能性広げたい



「忍耐力があり、規律性の高い人材が韓国には豊富」と話すのは、自動車部品製造のベンダ工業(呉市)の八代一成

社長。韓国でのビジネスの可能性を探る催しで、自社の現地事業を紹介した。

30年前に進出。業界でコストダウン要請が続く中、「日本だけでの生産ではいつか採算割れすると

の危機感があった」と説明する。日本に輸出する工場の位置付けだった現地子会社は、現地販売も始め、昨年の売上高は過去最高だった。「韓国は生産の半分以上を担う重要拠点に成長した」(堀晋也)

呉

人材豊富な韓国重要拠点

ず、これまで通り一畑グループがホテルを所有し経営、運営する。2020年には新館をオープンするとも明らかにした。

一畑は阪急阪神に加盟料

老朽化が進んでいるため、開業50年を迎える18年、建物の東側駐車場(3300平方メートル)で新館建設に着工する。今年中にコンセプトなどを決め、20年の完成を